

市川市リハビリテーション 協議会 ニュース



11号

令和5年度冬号

～ケアマネ・リハビリ合同研修会が開催されました～

12月14日（木）の午後、全日警ホールにて「認知症本人の意向と自立支援に沿ったケアマネジメント」というテーマで行われました。居宅介護支援専門員・高齢者サポートセンター職員・市川市職員・リハビリ専門職の職種併せて、60名以上の方が参加されました。各プログラムは、以下の通りです。

①市川市の認知症の人への取組み（市川市 地域包括支援課）

②地域で支える認知症の自立支援（世田谷区認知症在宅生活サポートセンター

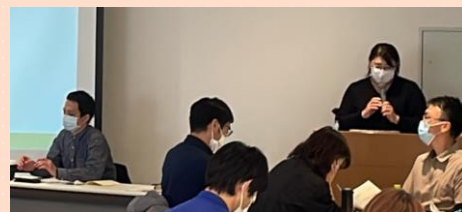
作業療法士 村島久美子氏）

③認知症によって起こる進行性失語（らいおんハート

内科整形外科リハビリクリニック

言語聴覚士・公認心理師 山崎勇太氏／言語聴覚士 鈴木拓也氏）

④グループワーク「認知症当事者による本人ミーティング」



最近、認知症本人の意思決定支援が注目され、市川市でも本人ミーティングなどが行われている中、どうやって本人の声を拾って集めることができるか、何を配慮するかなど、講義や動画を閲覧してのグループワークで検討することができました。（横山誠治（OT）

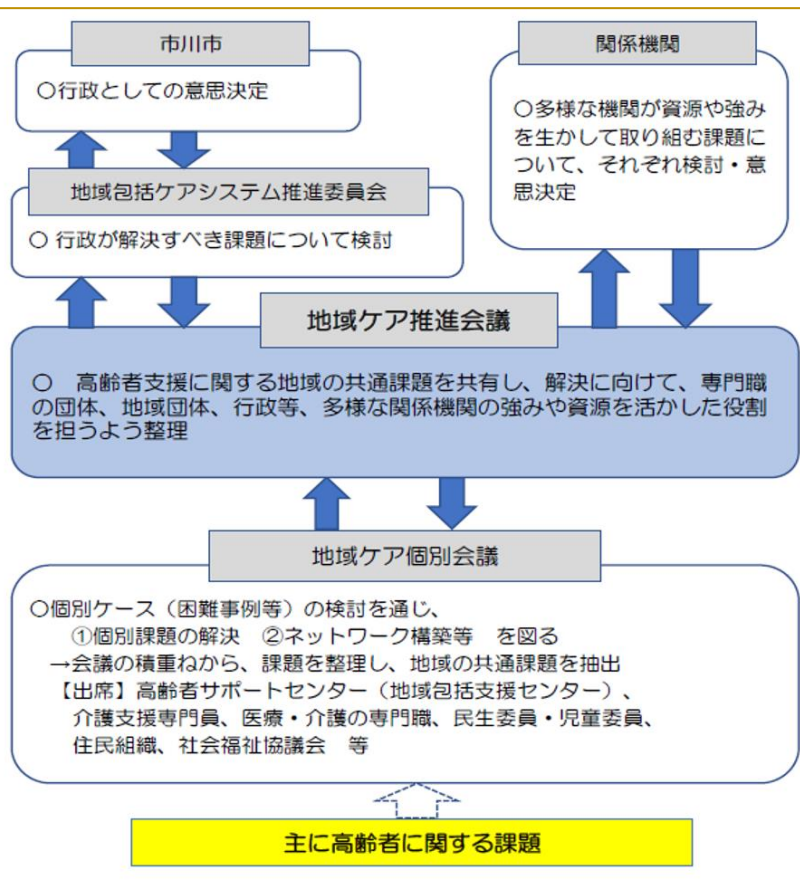
オレンジスマイルいちかわ2023に出店しました！

11月18日（土）に認知症をはじめとする地域住民の方の参加でタスキリレーをする「オレンジスマイルいちかわ」が開催され、当協議会はゴール会場のコルトンプラザで出店してきました。今年は『認知機能 触発ブース』！ 写真のようにパネルの表裏に絵柄があり、見本をみながら組み合わせて完成させるというもの。来場したお客さんや走り終えたランナーさんにも体験していただきました！出店にあたって、今年は協議会会員から3名の方にもご協力いただきました。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。



会員が「地域ケア会議」に参加しています

皆様、地域ケア会議をご存じでしょうか。
市川市では年4回、4エリアで地域ケア個別会議が行われます。当協議会の会員からPT・OT・STが計12名参加しています。
目的等は以下の図をご覧ください。



【地域ケア個別会議参加報告】

初めまして。理学療法士の菅生京子です。
2023年7月26日に開催された地域ケア会議に参加してきました！
今回は5人の個別事例に対して、自立支援のための運動や生活方法の工夫について提案をさせていただきました。
参加した中で、普段、一緒に仕事をする機会の少ない、生活支援コーディネーターなどの方からの具体的な自立支援は非常に参考になり、地域の困りごとに柔軟に対応してくださっていることが分かりました。また、コロナで制限されていた活動が徐々に再開されているため、地域の活気が戻りつつあることを感じました。
普段、訪問リハビリの仕事をしていると気づかないような地域の課題や具体的な支援を学ぶ機会をいただきました。

(菅生京子 (PT))

【編集後記】

トリプル改訂を間近に控え、皆さんあわただしい日々でしょうか。大変な時代を迎えつつありますが、柔軟な発想やチームワークが試されているように感じます。今年も頑張ってくださいませ！
(日下智子 (ST))

施設紹介(第11回)

市川市内の様々なリハビリ施設をご紹介します。
第11回は「白石整形外科クリニック」さんです。

当院は1996年に開設した、スポーツ外傷、運動機能障害、骨粗鬆症の専門治療を行う整形外科クリニックです。

「患者さんのために行う医療」をモットーに、患者さんが安心して自立した日常生活を送れることを目指し活動しています。現在、リハビリテーション科ではPT2名の他、柔道整復師や鍼灸師等のセラピストが4名在籍しており運動器と訪問リハビリテーションを提供しています。手術後の後遺症のリハビリだけでなく腰痛や五十肩、膝関節痛などの整形外科疾患や、加齢に伴う疾患の治療を行っています。また、患者さんの悩みに対応できるように医師とスタッフ間で患者さんの状態を常に把握し、生活の中の問題にすぐに対応できる体制を心掛けています。今後は訪問スタッフを増員して在宅での継続したリハビリを提供できるようにしていく予定です。
これからも、身近でいつでもなんでも相談できる整形外科のかかりつけ医として市川市の皆様に貢献していけるよう努力していきます。よろしくお願いします。
(萩原隆治 (PT))



市川市リハビリテーション協議会

HP) <http://ichikawa-rc.org/>
Mail)

ichikawarehakyou@gmail.com



ホームページ



LINE